



LCC News Letter 2 1
同志社校友会大阪支部産官学部会LCC
24 December 2011 (文責:北出 至)



クリスマスの植物ポインセチアは、あと数日で新しい年を迎えることを示します。

平成23年度のLCC活動も来春の総会を経て、新しい年度に入りますが、残された数ヶ月を会員の皆様のご健勝にて、益々、ご活躍されますよう祈念致します。

さて、今期前半の特筆すべきLCC活動を私の「独断と偏見」で選出しますことをご容赦ください。

「定例会」に於いては、今やLCCの特徴の一つである「LCC新島塾」の中で、

◆本井康博教授が、「同志社の歴史と大阪」
◆会員の藤原正巳氏が、「フローレンス・デントン女史」と「深井英五元日銀総裁」をテーマに、それぞれ講演されました。

6月例会では、「産官学連携」について、
◆経済産業省近畿経済産業局前田室長補佐が、「官」の立場からのお話を頂戴しました。

「企画会議」8月と2月の開催予定に加え来期の「新しい人事と組織」に関し12月にも、臨時的に執行部と各正副委員長らが議論を行いました。

「各委員会とプロジェクト・ラボの活動」

◆広報委員会—西岡副委員長主導でLCCホームページ改善に努力し機能復活に貢献。
◆会員委員会—事務局と共に会員名簿の整備及び会員間のメール交換の効率化に尽力。

◆起業委員会—DVT（同志社ベンチャートレイン）主催ビジネスプランコンテストを支援、高畑委員長に代わる大石副委員長が、コンテスト審査員の一人としてLCCを代表して参加。

◆法人委員会—昨年ひき続いて、同志社ビジネススクール（DBS）を社会に向け小林明夫会員らとその存在のPRに努力。

◆プロジェクト・ラボ（S I）ソーシャル・イノベーションと称する5回シリーズセミナーを下村広報委員長がプロジェクトラボの暫定的リーダーとして尽力し完結。

「LCC事務局」執行部、各委員会の活動を全般的に支援し、LCC組織の核的存在。特に榎本薬品株式会社からは、社員である内山さんの助力をはじめ物心両面においてLCCは協力を受けており、有難く感謝しています。しかし、できるだけ早く、そのご負担を解かなくてはと考えます。

「LCC六周年記念講演会」同志社大学のホームカミングデー当日に開催したDBS村山教授と李容淑女史による記念講演会も無事終わることが出来ましたが、陰には、リエゾン・オフィスの大神様らのご協力がありました。この時の様子を来春の「同志社タイムス」に掲載すべく、小池副会長が原稿作成などを含めて手配を致しました。

それでは皆様、良いお年をお迎え下さい。